

	中度	6.1	42.7	10.0	163.3	30	16.3
	重度	12.8	89.8	20.0	155.6	18	11.0
	合計	8.2	57.2	13.3	162.5	61	13.0
56 戸締まり・火の始末・防災	軽度	2.4	16.7	1.7	71.9	19	15.4
	中度	2.2	15.3	1.9	85.0	27	14.7
	重度	3.3	22.9	4.4	133.9	8	4.9
	合計	2.4	16.9	2.3	95.9	54	11.5
24 起座	軽度	4.3	29.9	6.8	158.2	4	3.3
	中度	4.9	34.4	7.3	148.5	19	10.3
	重度	5.8	40.6	13.4	230.7	24	14.6
	合計	5.3	37.2	10.7	200.7	47	10.0
85 指導・助言	軽度	4.2	29.3	4.7	111.1	6	4.9
	中度	5.0	34.7	6.5	131.7	12	6.5
	重度	3.0	20.8	2.7	89.3	25	15.2
	合計	3.7	25.9	4.3	116.5	43	9.1
86 病気の症状への対応	軽度	3.2	22.1	3.9	124.4	5	4.1
	中度	6.1	43.0	8.3	134.9	13	7.1
	重度	5.4	37.9	6.3	117.1	22	13.4
	合計	5.4	37.6	6.7	125.2	40	8.5
66 外出時の目的地での行為	軽度	7.2	50.4	7.0	96.8	13	10.6
	中度	9.7	68.0	9.0	92.3	15	8.2
	重度	4.8	33.6	3.6	74.8	7	4.3
	合計	7.8	54.6	7.5	96.1	35	7.4
92 応用日常生活訓練	軽度	13.1	91.4	15.9	121.4	9	7.3
	中度	4.8	33.5	3.7	76.8	12	6.5
	重度	7.1	49.4	9.2	131.1	12	7.3
	合計	7.9	55.1	10.4	132.3	33	7.0
94 スポーツ訓練	軽度	3.4	23.6	2.5	75.5	7	5.7
	中度	3.8	26.4	2.8	75.3	8	4.3
	重度	6.0	42.2	8.6	141.8	13	7.9
	合計	4.7	33.1	6.1	129.9	28	5.9
25 起立	軽度	3.6	25.0			1	0.8
	中度	6.4	44.6	7.6	119.5	11	6.0
	重度	1.7	11.6	3.1	188.3	11	6.7
	合計	4.0	28.0	6.0	151.0	23	4.9

62 電話、FAX、E-mail、手紙	軽度	1.8	12.4	3.7	208.8	11	8.9
	中度	0.7	5.2	0.8	109.1	5	2.7
	重度	0.4	3.0	0.2	56.5	5	3.0
	合計	1.2	8.5	2.7	224.9	21	4.5
54 食べ物の管理	軽度	2.5	17.8	3.1	123.6	8	6.5
	中度	3.5	24.8	3.0	85.3	7	3.8
	重度	4.6	31.9	4.9	107.0	5	3.0
	合計	3.4	23.8	3.5	102.8	20	4.2
26 介助用具の着脱	軽度	3.1	21.5			1	0.8
	中度	4.5	31.8	3.8	84.4	7	3.8
	重度	2.7	19.0	2.4	88.0	6	3.7
	合計	3.7	25.6	3.1	85.8	14	3.0
99 その他の機能訓練	軽度					0	0.0
	中度	6.6	46.3	5.3	79.6	4	2.2
	重度	9.3	65.3	7.1	76.4	10	6.1
	合計	8.6	59.9	6.6	76.8	14	3.0
13 洗髪	軽度	1.0	6.8	1.1	108.6	3	2.4
	中度	1.5	10.5	1.5	97.3	4	2.2
	重度	9.2	64.2	14.5	158.2	6	3.7
	合計	4.9	34.4	10.3	208.5	13	2.8
95 牽引・温熱・電気療法	軽度	4.1	28.8	3.8	92.2	2	1.6
	中度	9.6	67.3	5.5	57.3	2	1.1
	重度	3.6	25.3	3.3	90.0	9	5.5
	合計	4.6	32.3	4.0	86.0	13	2.8
93 言語・聴覚訓練	軽度	0.7	5.0			1	0.8
	中度	5.8	40.5	1.9	32.3	4	2.2
	重度	3.7	26.0	2.8	76.7	8	4.9
	合計	4.1	28.8	2.8	67.0	13	2.8
55 金銭管理	軽度	4.4	30.9	4.8	108.7	5	4.1
	中度	1.5	10.8	1.8	119.7	4	2.2
	重度	11.8	82.3	20.1	171.1	3	1.8
	合計	5.3	37.0	10.0	188.8	12	2.5
19 その他の入浴	軽度	1.8	12.4	1.3	71.9	4	3.3
	中度	7.0	49.3	6.0	85.1	3	1.6
	重度	1.1	7.8	0.5	41.3	4	2.4

	合計	3.0	20.8	3.8	129.2	11	2.3
39 その他の食事	軽度	2.8	19.8	1.8	62.4	5	4.1
	中度	19.3	134.9	35.1	182.4	5	2.7
	重度	2.6	18.0	.		1	0.6
	合計	10.3	72.0	23.9	232.2	11	2.3
61 行事、クラブ活動	軽度	7.3	51.3	8.8	120.1	6	4.9
	中度	2.9	20.0	2.0	70.7	2	1.1
	重度	5.7	40.0	2.0	35.4	2	1.2
	合計	6.1	42.8	6.9	112.5	10	2.1
29 その他の移動	軽度	0.1	1.0	.0.0	0.0	1	0.8
	中度	4.1	29.0	.0.0	0.0	1	0.5
	重度	31.9	223.0	41.8	131.3	2	1.2
	合計	17.0	119.0	29.7	174.5	4	0.8
49 その他の排泄	軽度	1.1	7.5	0.5	47.1	2	1.6
	中度	4.9	34.4	7.4	151.4	6	3.3
	重度	0.7	5.0	.0.0	0.0	1	0.6
	合計	3.6	25.2	6.2	172.8	9	1.9
63 文書作成	軽度	2.8	19.8	1.6	57.0	4	3.3
	中度	2.4	16.8	1.7	71.2	4	2.2
	重度	0.7	5.0	.0.0	0.0	1	0.6
	合計	2.4	16.8	1.6	66.0	9	1.9
73 行動上の問題の予防的訓練	軽度	21.1	148.0	6.5	30.6	2	1.6
	中度	2.0	13.7	2.1	108.6	3	1.6
	重度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	合計	9.6	67.4	11.1	115.3	5	1.1
79 その他の行動上の問題	軽度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	中度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	重度	1.8	12.8	1.7	91.8	4	0.8
	合計	1.8	12.8	1.7	91.8	4	0.8
89 その他の医療	軽度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	中度	10.5	73.5	13.4	128.0	2	1.1
	重度	2.5	17.5	2.5	101.0	2	1.2
	合計	6.5	45.5	9.1	140.7	4	0.8
68 社会生活訓練	軽度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	中度	1.1	7.8	0.1	4.6	2	1.1

	重度	8.2	57.5	8.6	104.5	2	1.2
	合計	4.7	32.6	6.4	138.1	4	0.8
69 社会生活支援のその他	軽度	2.4	16.5	2.7	115.7	2	0.4
	中度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	重度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	合計	2.4	16.5	2.7	115.7	2	0.4
102 職員に関する間接業務	軽度	19.7	138.0	14.1	71.7	2	0.4
	中度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	重度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	合計	19.7	138.0	14.1	71.7	2	0.4
67 職能訓練・生産活動	軽度	8.6	60.0	.0.0	0.0	1	0.2
	中度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	重度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	合計	8.6	60.0	.0.0	0.0	1	0.2
109 その他の間接業務	軽度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	中度	0.5	3.5	.0.0	0.0	1	0.2
	重度	.0.0	0.0	.0.0	0.0	0	0.0
	合計	0.5	3.5	.0.0	0.0	1	0.2

表 10-5 要介護度区分別発生ケア時間の検定結果（発生率降順）

	軽度⇔中度	軽度⇔重度	中度⇔重度
11 入浴	0.18	0.02	0.23
12 清拭	0.69	0.11	0.03
13 洗髪	0.95	0.29	0.28
14 洗面・手洗い	0.28	0.05	0.19
15 口腔・耳ケア	0.04	0.00	0.10
17 整容	0.66	0.29	0.38
18 更衣	0.00	0.00	0.48
19 その他の入浴	0.06	0.77	0.04
21 敷地内の移動	0.10	0.30	0.47
22 移乗	0.08	0.00	0.04
23 体位変換	0.73	0.18	0.05
24 起座	0.91	0.79	0.79
31 調理	0.17	0.17	0.93
32 配膳・下膳	0.56	0.29	0.05
33 食器洗浄・食器の片づけ	0.63	0.57	0.91
34 摂食	0.08	0.00	0.01
35 水分摂取	0.01	0.51	0.01
41 排尿	0.01	0.15	0.25
42 排便及びおむつ・パット介助	0.09	0.00	0.00
51 洗濯	0.94	0.79	0.83
52 清掃・ごみの処理	0.97	0.28	0.27
53 整理整頓	0.76	0.23	0.09
54 食べ物の管理	0.60	0.34	0.63
55 金銭管理	0.68	0.34	0.22
56 戸締まり・火の始末・防災	0.79	0.37	0.25
59 その他の会話	0.55	0.98	0.51
61 行事、クラブ活動	0.49	0.80	0.71
62 電話、FAX、E-mail、手紙	0.50	0.38	0.86
64 来訪者への対応	0.93	0.19	0.09
65 外出時の目的地までの移動	0.62	0.57	0.87
66 外出時の目的地での行為	0.38	0.50	0.16
71 行動上の問題の発生時の対応	0.24	0.16	0.66
72 行動上の問題の予防的対応	0.33	0.54	0.64
81 薬剤の使用	0.34	0.00	0.00
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	0.97	0.19	0.03
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	0.46	0.20	0.44
84 観察・測定・検査	0.90	0.00	0.00
85 指導・助言	0.73	0.54	0.20
86 病気の症状への対応	0.41	0.51	0.76
91 基本日常生活訓練	0.82	0.40	0.41
92 応用日常生活訓練	0.07	0.19	0.59
94 スポーツ訓練	0.90	0.37	0.43
95 牽引・温熱・電気療法	0.16	0.86	0.06
101 対象者に関する間接業務	0.86	0.05	0.04

第11章 在宅において長く介護が提供されていた高齢者に対する介護パターン分析—介護提供時間の上位 10 名の事例分析を通して—

本章では、在宅において長く介護が提供されていた高齢者に対する介護パターンについて、分析を行った。在宅タイムスタディデータにおいて、合計ケア時間が最も長かった上位、そして最も短かった下位 10 名の属性および提供されていたケア内容について、以下に検討を行った。

1. 合計ケア時間の上位 10 人と下位 10 人の属性

(1) 年齢

平均年齢は、上位 10 人の方がわずかに高かったが、年齢において 2 群間に統計的有意差は見られなかった。

表 11-1 合計ケア時間上位下位 10 人の平均年齢

	平均年齢	標準偏差	最小値	最大値	N
上位 10 人	83.0	11.1	59.0	97.0	10
下位 10 人	82.4	5.5	75.0	93.0	9

(2) 性別

性別については、上位 10 人が男性 6 名、女性 4 名と男性の方が多かったのに対し、下位 10 人は男性 2 名、女性 8 名と女性の方が多い傾向にあった。

表 11-2 合計ケア時間上位下位 10 人の性別

		上位 10 名		下位 10 名	
		N	%	N	%
性別	男性	6	60.0	2	20.0%
	女性	4	40.0	8	80.0%

(3) 要介護度

要支援 1 を 1、要介護 5 を 7 とした場合の上位 10 人と下位 10 人の平均要介護度をみた。上位 10 人の平均要介護度は、一次判定で 6.3、二次判定で 5.9 であった。一方、下位 10 人

は一次判定で3.0、二次判定で2.8と平均要介護度は、3段階程度開きがあった。

また、データ数が10人中9人あった二次判定でみると、上位10人で最も多かったのは、要介護5で5人最も多く、次いで要介護3が2人、要介護2と4がそれぞれ1人であった。

一方、下位10人は、要介護1が6人と最も多く、次いで要支援1、要支援2、要介護2がそれぞれ1人であった。

表 11-3 合計ケア時間上位下位10人の平均要介護度

		平均要介護度	標準偏差	最小値	最大値	N
1次判定	上位10人	6.3	0.8	5	7	6
	下位10人	3.0	0.6	2	4	6
2次判定	上位10人	5.9	1.7	2	7	9
	下位10人	2.8	0.8	1	4	9

※要支援1を1、要介護5を7とした場合。

表 11-4 合計ケア時間上位下位10人の要介護度の分布

		上位10人		下位10人	
		N	%	N	%
一次判定	要支援1	0	0.0	0	0.0
	要支援2	0	0.0	1	16.7
	要介護1	0	0.0	4	66.7
	要介護2	0	0.0	1	16.7
	要介護3	1	16.7	0	0.0
	要介護4	2	33.3	0	0.0
	要介護5	3	50.0	0	0.0
合計		6	100.0	6	100.0
二次判定	要支援1	0	0.0	1	11.1
	要支援2	1	11.1	1	11.1
	要介護1	0	0.0	6	66.7
	要介護2	0	0.0	1	11.1
	要介護3	2	22.2	0	0.0
	要介護4	1	11.1	0	0.0
	要介護5	5	55.6	0	0.0
合計		9	100.0	9	100.0

(4) サービス利用状況

1) サービス利用数

サービス利用数については、上位 10 人のサービス利用数の平均値は 3.2 種類、下位 10 人のサービス種類数の平均値は 2.7 種類であった。

表 11-5 合計ケア時間上位下位 10 人の平均サービス利用数

	平均値(種類)	標準偏差	最小値	最大値	N
上位 10 人	3.2	1.0	2	5	10
下位 10 人	2.7	1.8	1	7	10

表 11-6 合計ケア時間上位下位 10 人のサービス利用数の分布

	上位 10 人		下位 10 人	
	N	%	N	%
1 種類			2	20
2 種類	3	30	4	40
3 種類	3	30	2	20
4 種類	3	30	1	10
5 種類	1	10		
7 種類			1	10
合計	10	100	10	100

2) サービス利用組み合わせ

サービス利用組み合わせについては、以下の表 11-7 のようになった。上位 10 人はすべての高齢者が福祉用具貸与のサービスを利用していた。サービス利用数としては、5 種類が一番多く（1 名）、次いで 4 種類（3 名）であった。

下位 10 人については、上位 10 人で全員利用していた福祉用具貸与は半数の 5 人であった。利用数としては、7 種類（1 名）が一番多く、その後 4 種類（1 名）、3 種類（1 名）と続いた。

表 11-7 合計ケア時間上位 10 人のサービス利用組み合わせ（利用数降順）

利用数	組み合わせ	N	%
5	訪介、訪入、訪看、訪り、用具	1	10
4	訪介、訪入、訪看、用具	2	20
4	訪入、訪看、訪り、用具	1	10

3	訪看、通り、用具	1	10
3	訪入、訪看、用具	1	10
3	訪介、訪看、用具	1	10
2	通り、用具	1	10
2	通介、用具	1	10
2	訪看、用具	1	10
	合計	10	100

表 11-8 合計ケア時間下位 10 人のサービス利用組み合わせ (利用数降順)

利用数	組み合わせ	N	%
7	訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	1	10
4	訪介、訪看、通介、用具	1	10
3	訪介、訪看、用具	1	10
3	訪介、訪看、訪り	1	10
2	通り、用具	1	10
2	訪介、用具	1	10
2	訪介、通介	1	10
2	訪介、訪看	1	10
1	訪看	1	10
1	訪介	1	10
	合計	10	100

2. 合計ケア時間の上位下位 10 人に提供されていたケア内容

(1) 合計ケア時間の上位下位 10 人に提供されていた合計ケア時間

合計ケア時間の上位 10 人の 1 日あたりの平均ケア提供時間は 707.7 分であり、下位 10 人は 15.6 分であった。また、上位と下位合計ケア時間およびの属性をまとめると表 11-10 のようになった。

表 11-9 ケア時間上位と下位の合計ケア時間の比較

	1 日平均(分)	1 週間平均(分)	標準偏差	最小値	最大値
上位 10 人	707.7	4953.7	104.7	602.9	961.4
下位 10 人	15.6	109.2	6.6	6.1	25.7

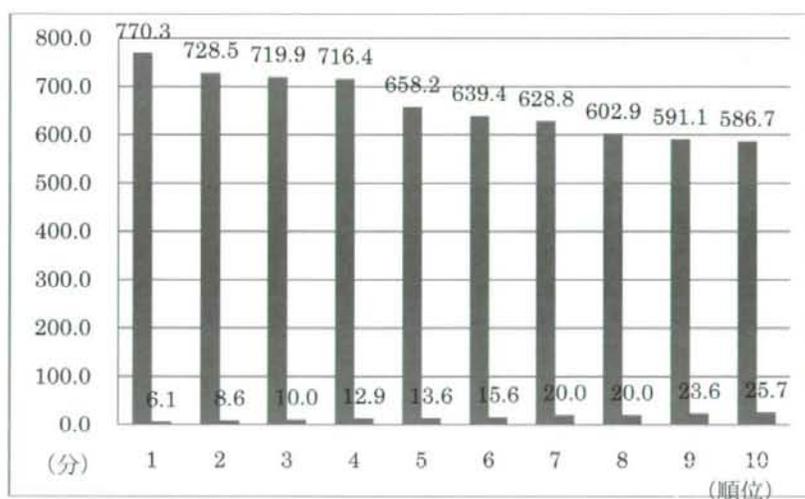


図 11-1 ケア時間上位と下位の 1 日あたりの合計ケア時間の分布

表 11-10 合計ケア時間上位下位 10 人の合計ケア時間および属性のまとめ表

上位下位	順位	ID	1日平均(分)	要介護度	年齢	性別	利用サービス	利用数
上位	1	284	770.3	要介護3	97	女性	訪看、用具	2
	2	193	728.5	要介護5	79	男性	訪介、訪入、訪看、訪り、用具	5
	3	338	719.9	要介護5	78	男性	訪介、訪入、訪看、用具	4
	4	67	716.4	要介護5	79	男性	訪介、訪入、訪看、用具	4
	5	420	658.2	要介護5	94	女性	訪介、訪看、用具	3
	6	273	639.4	要介護3	79	男性	通介、用具	2
	7	474	628.8	.	89	女性	訪入、訪看、訪り、用具	4
	8	245	602.9	要介護4	83	男性	訪看、通り、用具	3
	9	100	591.1	要介護5	93	女性	訪介、訪入、訪看	3
	10	506	586.7	要介護5	59	男性	訪介、訪入、訪看、用具	4
下位	1	497	6.07	要介護1	83	女性	訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	7
	2	480	8.57	要介護1	79	女性	訪介、訪看	2
	3	441	10	要介護1	75	女性	訪介、訪看、訪り	3
	4	106	12.86	要支援1	76	女性	訪介	1
	5	481	13.57	要介護1	93	女性	訪介、通介	2
	6	337	15.57	要支援2	.	女性	訪介、訪看、用具	3
	7	434	20	要介護1	86	女性	通り、用具	2
	8	461	20	要介護1	84	男性	訪介、訪看、通介、用具	4
	9	501	23.57	.	84	女性	訪介、用具	2
	10	439	25.71	要介護2	82	男性	訪看	1

(2) 合計ケア時間の上位下位 10 人に発生したケア内容別ケア時間

1) 合計ケア時間上位 10 人に発生したケア内容別ケア平均時間

62 種類中 43 種類のケアが発生していた。発生率が最も高いケア内容は「対象者に関する間接業務」で 100%であり 1 日平均 26.8 分のケアが発生していた。90%の発生率であったケア内容は、「排便及びおむつ・パット介助」、「観察・測定・検査」、「更衣」であり、それぞれ 78.8 分、43.5 分、19.2 分のケア時間であった。

80%の発生率であったケア内容は、「薬剤の使用」、「薬剤の使用」、「口腔・耳ケア」であり、それぞれ 31.6 分、15.7 分、14.5 分のケア時間であった。

1 日平均のケア時間が最も長いケア内容は、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」で 253.2 分であり、発生率は 60%であった。次いで「行動上の問題の発生時の対応」で 240.1 分であり、発生率は 20%と比較的低かった。続いて「行動上の問題の予防的対応」が 139.3 分、「来訪者への対応」が 88.6 分、「摂食」が 71.7 分などと続いた。

なお、以下のケアについては、ケアが発生していなかった。「月経への対処」、「その他の入浴」、「起立」、「介助用具の着脱」、「その他の移動」、「その他の食事」、「食べ物の管理」、「金銭管理」、「戸締まり・火の始末・防災」、「その他の生活自立支援」、「行事、クラブ活動」、「外出時の目的地での行為」、「職能訓練・生産活動」、「社会生活訓練」、「社会生活支援のその他」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の行動上の問題」、「応用日常生活訓練」、「言語・聴覚訓練」、「スポーツ訓練」、「牽引・温熱・電気療法」、「その他の機能訓練」、「職員に関する間接業務」、「その他の間接業務」であった。

表 11-11 合計ケア時間上位 10 人に発生したケア内容別ケア時間

	1日平均	1週間平均	標準偏差	変動係数	N	発生率
101 対象者に関する間接業務	26.8	187.6	23.2	86.4	10	100
42 排便及びおむつ・パット介助	78.8	551.9	67.8	86.0	9	90
84 観察・測定・検査	43.5	304.2	59.8	137.6	9	90
18 更衣	19.2	134.1	23.4	122.2	9	90
52 清掃・ごみの処理	11.5	80.8	10.3	88.9	9	90
81 薬剤の使用	31.6	221.5	24.1	76.3	8	80
15 口腔・耳ケア	15.7	109.9	22.7	144.7	8	80
51 洗濯	14.5	101.6	9.7	67.1	8	80
33 食器洗浄・食器の片づけ	18.6	130.1	16.2	87.1	7	70
12 清拭	26.3	183.8	22.5	85.9	7	70
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	253.2	1772.5	205.4	81.1	6	60

34	摂食	71.7	501.8	59.2	82.6	6	60
31	調理	65.8	460.8	17.0	25.9	6	60
83	運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置	25.1	175.8	36.1	143.7	6	60
11	入浴	24.9	174.2	14.5	58.4	6	60
41	排尿	16.9	118.4	34.7	205.3	6	60
14	洗面・手洗い	6.7	46.8	5.4	80.4	6	60
35	水分摂取	3.1	22.0	1.8	56.4	6	60
91	基本日常生活訓練	27.4	191.8	7.9	29.0	5	50
23	体位変換	25.1	175.8	30.7	122.3	5	50
21	敷地内の移動	13.8	96.4	18.6	135.1	4	40
17	整容	6.9	48.4	2.9	42.1	4	40
22	移乗	11.0	76.7	10.5	95.6	3	30
86	病気の症状への対応	10.2	71.7	13.5	132.1	3	30
59	その他の会話	5.7	40.0	8.0	140.9	3	30
71	行動上の問題の発生時の対応	240.1	1680.5	206.2	85.9	2	20
72	行動上の問題の予防的対応	139.3	975.0	160.6	115.3	2	20
24	起座	8.9	62.5	11.6	130.1	2	20
32	配膳・下膳	2.1	15.0	2.0	94.3	2	20
53	整理整頓	1.8	12.5	0.5	28.3	2	20
64	来訪者への対応	88.6	620.0			1	10
13	洗髪	38.6	270.0			1	10
63	文書作成	8.6	60.0			1	10
49	その他の排泄	5.7	40.0			1	10
65	外出時の目的地までの移動	5.7	40.0			1	10
89	その他の医療	4.3	30.0			1	10
85	指導・助言	2.1	15.0			1	10
62	電話、FAX、E-mail、手紙	0.4	2.5			1	10

2) 合計ケア時間下位 10 人に発生したケア内容別ケア平均時間

62 種類中 16 種類のケアが発生していた。発生率が最も高いケア内容は「その他の会話」70%で、ケア時間は 4.6 分であった。次いで「清掃・ごみの処理」が 60%で 7.8 分、「観察・測定・検査」が 60%で 2.0 分であった。

1 日平均のケア時間が最も長いケア内容は、「清掃・ごみの処理」が 7.8 分で発生率は 60%で比較的高かった。次いで「外出時の目的地までの移動」が 6.7 分で発生率は 30%、「金銭

管理」が5.7分で発生率は10%と低かった。

なお、以下のケアについてはケア時間が発生していなかった。「入浴」、「清拭」、「洗髪」、「洗面・手洗い」、「口腔・耳ケア」、「月経への対処」、「整容」、「更衣」、「その他の入浴」、「移乗」、「体位変換」、「起座」、「起立」、「介助用具の着脱」、「その他の移動」、「摂食」、「水分摂取」、「その他の食事」、「排尿」、「排便及びおむつ・パット介助」、「その他の排泄」、「戸締まり・火の始末・防災」、「その他の生活自立支援」、「行事、クラブ活動」、「電話、FAX、E-mail、手紙」、「文書作成」、「来訪者への対応」、「外出時の目的地での行為」、「職能訓練・生産活動」、「社会生活訓練」、「社会生活支援のその他」、「行動上の問題の発生時の対応」、「行動上の問題の予防的対応」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の行動上の問題」、「薬剤の使用」、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」、「病気の症状への対応」、「その他の医療」、「応用日常生活訓練」、「言語・聴覚訓練」、「スポーツ訓練」、「牽引・温熱・電気療法」、「その他の機能訓練」、「職員に関する間接業務」、「その他の間接業務」であった。

表 11-12 合計ケア時間下位 10 人に発生したケア内容別ケア時間

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	N	発生率
59 その他の会話	4.6	32.1	4.4	0.9	7	70
52 清掃・ごみの処理	7.8	54.8	3.7	0.5	6	60
84 観察・測定・検査	2.0	14.2	1.5	0.8	6	60
65 外出時の目的地までの移動	6.7	46.7	5.0	0.8	3	30
101 対象者に関する間接業務	1.7	11.7	1.1	0.7	3	30
32 配膳・下膳	4.3	30.0	4.0	0.9	2	20
31 調理	3.2	22.5	1.5	0.5	2	20
85 指導・助言	1.4	10.0	0.0	0.0	2	20
51 洗濯	5.7	40.0	.		1	10
55 金銭管理	5.7	40.0	.		1	10
54 食べ物の管理	2.9	20.0	.		1	10
91 基本日常生活訓練	2.9	20.0	.		1	10
21 敷地内の移動	1.4	10.0	.		1	
53 整理整頓	1.4	10.0	.		1	10
33 食器洗浄・食器の片づけ	1.1	7.5	.		1	10
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置	0.7	5.0	.		1	10

3) 合計ケア時間上位 10 人に発生したケア内容別ケア時間の事例検討

① ID284

ID284 は、調査対象の中で最も長いケアを家族から提供されていた。要介護度は3であり、麻痺が左下肢と右下肢にあり、関節可動域の制限が股関節、膝関節、足関節にあることから、寝返り、起き上がりは、できないが、座位保持は、支えてもらえばできるが、歩行はできず、移乗、移動は全介助であった。洗身は、行っていなかった。ほぼ寝たきりであり、じよくそうもあった。

えん下はできるが、食事摂取や飲水は一部介助となっており、排尿、排便、口腔清潔、洗顔、整髪、つめ切り、上衣の着脱、スポン等着脱も全介助であった。

直前を思い出すことや、場所を答えることはできないが、自分の名前を答えることや、今の季節は理解でき、意思是、ときどき伝達でき、指示もときどき通じることから、薬の内服や金銭の管理や電話の利用は、一部介助となっていた。

BPSDに係るような行動としては、ひどい物忘れや昼夜逆転があり、大声を出すことがあり、暴言や暴行、落ち着きが無いことがときどきあるという状況であるが、夜間 11 時から、大声を出し、ふとんをけとばすといった行動を起こすことから、家族が二人で、話を聞き、落ち着かせて、眠らせるために、そばにいるという状況が夜間に 6 時間程度のケアとして発生しており、さらに、こういった夜の不眠の状況が週に 3 回以上発生していることから、ケアとしては、63 種類中、19 種類が発生していただけであったが、「行動上の問題の発生時の対応」は 1 日あたりで 385.9 分も発生していた。

次いで長かったのは、「排便及びおむつ・パット介助」154.3 分、「摂食」85.0 分であったが、これらの 3 つのケアだけで 1 日平均 1 時間以上提供されていた。このほかに「調理」40.7 分、「行動上の問題の予防的対応」25.7 分、「薬剤の使用」16.4 分、「口腔・耳ケア」14.7 分と、夜間に眠らせるために、安定剤を投与することも行われており、さまざまな日常生活動作の介助だけでなく、こういった行動への対応に時間がかかっていた。

表 11-13 ID284 に発生したケア内容別ケア時間

	1 日あたりのケア時間	1 週間のケア時間
合計ケア時間	770.3	5392.0
71 行動上の問題の発生時の対応	385.9	2701.0
42 排便及びおむつ・パット介助	154.3	1080.0
34 摂食	85.0	595.0
31 調理	40.7	285.0
72 行動上の問題の予防的対応	25.7	180.0
81 薬剤の使用	16.4	115.0
15 口腔・耳ケア	14.7	103.0
51 洗濯	7.1	50.0

52	清掃・ごみの処理	6.8	47.5
14	洗面・手洗い	5.7	40.0
18	更衣	5.7	40.0
84	観察・測定・検査	5.4	38.0
33	食器洗浄・食器の片づけ	5.4	37.5
35	水分摂取	5.0	35.0
85	指導・助言	2.1	15.0
59	その他の会話	1.4	10.0
101	対象者に関する間接業務	1.4	10.0
41	排尿	0.7	5.0
86	病気の症状への対応	0.7	5.0

② ID193

ID193 の高齢者は、要介護5であった。左と右共に、上下肢の麻痺があり、関節可動域の制限が肩関節、肘関節、股関節、膝関節にあった。こういった障害のために、寝返り、起き上がり、両足立位保持、立ち上がりはできず、座位保持において、支えてもらえばできるという状況で、移乗、移動、洗身、食事摂取、飲水、排尿、排便、口腔清潔、洗顔、整髪、つめ切り、上衣の着脱、ズボン等着脱は全介助となっており、じょくそうもあった。また、えん下もできなかった。

視力は、ほとんど見えず、普通の声がやっと聞こえる程度であるが、意思の伝達ができず、指示は通じず、毎日の日課を理解できず、生年月日を答えることもできないし、年齢も答えることができない、直前を思い出すことも名前を答えることも、今の季節を理解ができない、場所を答えるができない日常の意思決定できない状況であった。BPSDに係る行動は全くなく、胃ろうがあることが特徴であった。

提供されていたケアは63種類中、18種類であった。時間が長く提供されていたケアとしては、痰の処理や経管栄養の注入の観察や、じょくそう予防に係るケアといった「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」が493.7分と特に長く、これに関わる「薬剤の使用」34.1分、「観察・測定・検査」31.6分が発生していた。このほかに、四肢稼働をするといった「基本日常生活訓練」31.4分も行い、さらに、機能レベルがかなり低いために、「入浴」27.9分、「排便及びおむつ・パット介助」26.1分、「清拭」12.8分、「体位変換」10.7分といったケアも常時提供している状況であった。

表 11-14 ID193 に発生したケア内容別ケア時間

	1日あたりのケア 時間	1週間のケア時間
合計ケア時間	728.5	5099.5
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	493.7	3456.0
81 薬剤の使用	34.1	239.0
84 観察・測定・検査	31.6	221.5
91 基本日常生活訓練	31.4	220.0
101 対象者に関する間接業務	31.4	220.0
11 入浴	27.9	195.0
42 排便及びおむつ・パット介助	26.1	183.0
12 清拭	12.8	89.5
23 体位変換	10.7	75.0
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	7.1	50.0
17 整容	5.5	38.5
15 口腔・耳ケア	5.4	37.5
51 洗濯	3.6	25.0
52 清掃・ごみの処理	2.9	20.0
18 更衣	2.1	15.0
53 整理整頓	1.4	10.0

③ ID 338

ID 338 の高齢者は、左上肢、左下肢麻痺あり、関節可動域の制限は肩関節、肘関節、股関節、膝関節、足関節ありで、寝返りは、何かにつかまればできるであったが、起き上がり、座位保持、両足立位保持、歩行、立ち上がり、片足立位保持がすべてできず、移乗、移動、洗身、食事摂取、飲水、排尿、排便、口腔清潔、洗顔、整髪、つめ切り、上衣の着脱、ズボン等着脱の全介助、皮膚疾患があり、えん下はできなかった。

視力、聴力は普通で、意思の伝達できる、指示が通じる、毎日の日課を理解できる、生年月日を答える、年齢を答える、直前を思い出す、名前を答える、今の季節を理解できる、場所を答えることができ、BPSD に関しては、昼夜逆転、介護に抵抗をすることが時々あり、胃ろうがある高齢者であった。この高齢者に対しては、63 種類中、17 種類のケアが提供されていた。提供時間が長いケアとしては、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」521.9 分であり、胃ろうがあり、ネブライザーによる吸引がかなり多く、痰の処理に多くの時間を費やしていた。このほかに、ほとんど日常生活能力が低いため、「排便及びおむつ・パット介助」39.7 分、「基本日常生活訓練」30.0 分、「観察・測定・検査」25.7 分、「入浴」17.1 分が多く、手足のマッサージなどにも時間がかかっていた。「洗濯」12.9 分、「清拭」11.4 分、「洗面・手洗い」11.4 分といった基本的なケアも多かった。

表 11-15 ID 338 に発生したケア内容別ケア時間

	1 日あたりのケア時間	1 週間のケア時間
合計ケア時間	719.9	5039.5
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	521.9	3653.0
42 排便及びおむつ・パット介助	39.7	278.0
91 基本日常生活訓練	30.0	210.0
84 観察・測定・検査	25.7	180.0
11 入浴	17.1	120.0
101 対象者に関する間接業務	15.9	111.5
51 洗濯	12.9	90.0
12 清拭	11.4	80.0
14 洗面・手洗い	11.4	80.0
15 口腔・耳ケア	8.1	57.0
23 体位変換	7.9	55.0
22 移乗	6.9	48.0
18 更衣	6.4	45.0
17 整容	3.6	25.0
41 排尿	0.7	5.0
21 敷地内の移動	0.3	2.0

④ ID67

ID67は、要介護度は5であり、訪介、訪入、訪看、用具と4種類のサービスを受けていた。「ストーマ」、「気管切開処置」、「経管栄養」、「じょくそうの処置」、「カテーテル」といった特別な医療にかかわる項目がありとなっていた。これら特別な医療にかかわる処置や管理、あるいは状態の観察といったケアが多く発生していた。

また、寝たきりのため、特別な介護等や身の回りの世話にかかわる項目についても、ほぼ全介助であり療養上の世話にかかわるケアも多く発生していた。この高齢者に提供されていたケアは、63種類中、19種類であった。

一番時間が長かったのが、気管切開に伴う痰吸引やネブライザーといった「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」のケアであり、一日あたり157.6分提供されていた。

また、状態の観察にかかわる「観察・測定・検査」が100.3分提供されており、「薬剤の使用」も73.6分提供されていた。

その他には、「口腔・耳ケア」が69.3分、「調理」が69.3分、「清拭」が65.7分と療養上の世話にかかわるケアが長く発生しており、以上の6つのケアが1日平均1時間以上提供されていたケアであった。

その他に長く時間がかかったケアとしては、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」40.1分、「体位変換」23.6分、「移乗」22.9分、「対象者に関する間接業務」17.5分、「整容」10.0分といったものが発生していた。

表 11-16 ID67に発生したケア内容別ケア時間

	1日あたりのケア時間	1週間のケア時間
合計ケア時間	716.4	5014.5
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	157.6	1103.0
84 観察・測定・検査	100.3	702.0
81 薬剤の使用	73.6	515.0
15 口腔・耳ケア	69.3	485.0
31 調理	69.3	485.0
12 清拭	65.7	460.0
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	40.1	281.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	30.0	210.0
23 体位変換	23.6	165.0
22 移乗	22.9	160.0
101 対象者に関する間接業務	17.5	122.5
17 整容	10.0	70.0

11 入浴	9.3	65.0
52 清掃・ごみの処理	7.9	55.0
35 水分摂取	4.6	32.0
18 更衣	4.3	30.0
86 病気の症状への対応	4.3	30.0
34 摂食	4.1	29.0
53 整理整頓	2.1	15.0

⑤ ID 420

ID 420 の高齢者は要介護5であり、訪問介護、訪問看護、福祉用具貸与の三つのサービスを利用していた。提供されていたケアは63種類中、14種類であった。

特別な医療に関しては、「経管栄養」、「じょくそうの処置」があり、そのため一番長く発生していたのは、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」175.9分であった。BPSDについては特にありの項目はなかったが、認知機能にかかわるコミュニケーションがすべてできないとなっており、意思疎通が困難である高齢者であることが推察された。そのため、移動、身の回りの世話、特別な介護等の項目がほぼ全介助となっており、療養上の世話が多く必要な推察された。

とりわけ、「排便及びおむつ・パット介助」のケアについて174.7分と長く時間が発生していたが、おむつ交換といった排便にかかわるケアについては、家族2人でケアを提供していたため、他の高齢者より多く時間が発生していたものと推察される。呼吸器の処置、排泄の2つのケア内容が多く発生している高齢者であった。

その他にかかったケアとしては、「体位変換」78.6分、「対象者に関する間接業務」77.1分、「更衣」51.8分、「薬剤の使用」44.2分、「観察・測定・検査」20.1分、「清掃・ごみの処理」14.3分、「清拭」11.6分といったケアが発生していた。

表 11-17 ID 420 に発生したケア内容別ケア時間

	1日あたりのケア時間	1週間のケア時間
合計ケア時間	658.2	4607.5
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	175.9	1231.0
42 排便及びおむつ・パット介助	174.7	1223.0
23 体位変換	78.6	550.0
101 対象者に関する間接業務	77.1	540.0
18 更衣	51.8	362.5
81 薬剤の使用	44.2	309.5
84 観察・測定・検査	20.1	141.0